令和3年度第2回ISO上層委員会報告会

第115回 ISO理事会 報告

一般財団法人日本規格協会
システム系規格開発ユニット
中川　梓

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

ISO Council (理事会)

標準化で、世界をつなげる。
JSA GROUP
日本規格協会グループ SINCE 1945

◆ ISO理事会とは

- ISOの中心となる統括組織
- 構成：ISOメンバー機関代表20名、ISO役員、政策開発委員会議長(CASCO、COPOLCO、DEVCO)
- 議長：ISO会長または副会長(政策)
- 年3回の会合
- 財務監事、TMBメンバー、政策委員会議長の指名

◆ 理事会メンバー機関

グループ1
AFNOR(仏)(2023)
ANSI (米)(2023)
BSI(英) (2022)
DIN(独) (2023)
JISC(日)(2022)
SAC(中) (2022)

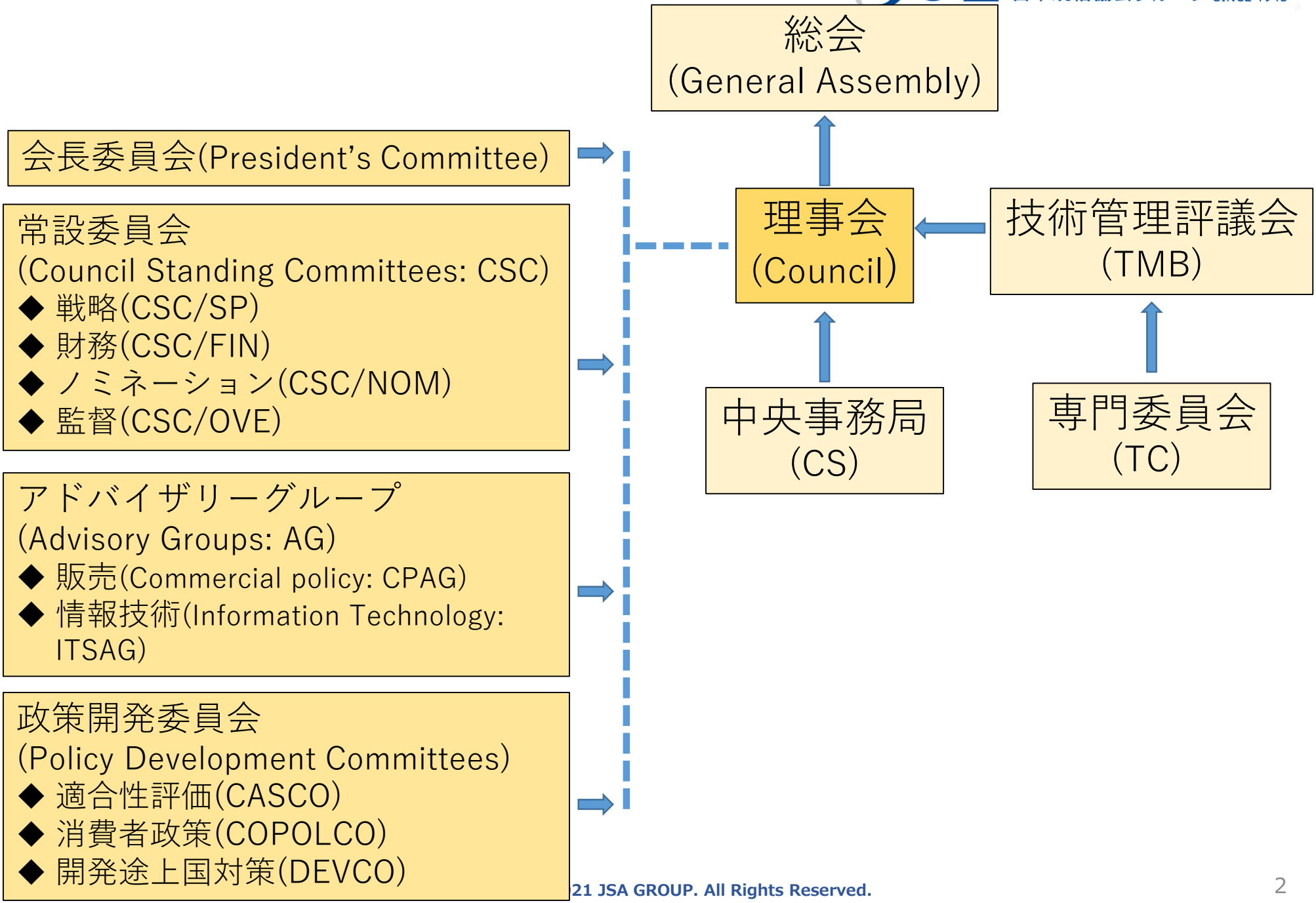
グループ2
ABNT(ﾌﾞﾗｼﾞﾙ) (2021)
KATS(韓) (2022)
SCC(ｶﾅﾀﾞ) (2022)
UNE(ｽﾍﾟｲﾝ) (2021)
NBN (ﾍﾞﾙｷﾞｰ)(2023)

グループ3
ESMA(ｱﾗﾌﾞ首) (2022)
IRAM(ｱﾙｾﾞﾝﾁﾝ) (2021)
SOSO(ｻｳｼﾞｱﾗﾋﾞｱ) (2022)
DS(ﾃﾞﾝﾏｰｸ) (2023)
SABS (南ｱ)(2023)

グループ4
HZN(ｸﾛｱﾁｱ) (2021)
INACAL(ﾍﾟﾙｰ) (2022)
IBNORCA(ﾎﾞﾘﾋﾞｱ)(2023)
SAZ(ｼﾞﾝﾊﾞﾌﾞｴ)(2023)

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

ISO Council (理事会)



21 JSA GROUP. All Rights Reserved.

第114回 ISO理事会 及び 関連会合

2021年6月2日	
13:00-16:00(日本時間：20:00-23:00)	CSC/FIN
2021年6月3日	
13:00-16:00(日本時間：20:00-23:00)	CSC/SP
2021年6月4日	
13:00-14:30(日本時間：20:00-21:30)	CSC/OVE
2021年6月7日	
09:00-12:00(日本時間：16:00-19:00) 13:30-15:00(日本時間：20:30-22:00)	会長委員会 CSC/NOM
2020年6月8日	
12:30-17:00(日本時間：19:30-24:00)	理事会
2020年6月9日	
13:00-16:00(日本時間：20:00-23:00)	理事会
2020年6月10日	
13:00-16:00(日本時間：20:00-23:00)	理事会

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

第115回 ISO理事会

- 理事会及び常設委員会の会議が、2021年6月2日から10日にかけ、ウェブ会議で開催された。

- 理事会は議題数を考慮し、3日間にわたって開催された。

- 時間的な制約等を考慮し、議事を重要/緊急の項目に絞り（カテゴリB)、会議中は議論/確認のみとし、決議は行わず、後日電子投票を行い、正式に決議する。その他の項目(カテゴリA）は情報提供のみ、あるいは必要な場合、電子投票を行う。

- 本資料では、理事会での主な議論、決議事項をご報告する。

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題2～COVID-19の影響及び事務総長報告

<主な報告事項>

- COVOD-19の影響/対応
  - TCやガバナンス活動への影響
  - ISO/CSの事業継続と財務
    - ISO 22301:2019に基づく事業継続計画（BCP)を実施。
    - Minimum Viable Level of Service (MVLS)という考え方で、必要最低限の活動以外に支出を凍結
    - CSスタッフはテレワーク。メンタルヘルスが優先事項
    - 財務状況は健全（4月末で3066kCHF剰余）
  - メンバー支援
    - コミュニケーション
      - 月次のメールレポート
      - 会費に関し密にモニタ
    - 規格の無料閲覧
    - キャパシティビルディング

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題2～COVID-19の影響及び事務総長報告　その２

<主な報告事項>

- ISO戦略2030 – 実施計画／測定枠組みに関する初回報告
  - ISOリサーチライブラリ(https://library.iso.org/home.html)
    - 257件の標準化関係調査文書が閲覧可能、発行年やキーワードで検索可能
  - ESGへの戦略的取組み
  - eSports白書の発行
    - DINと共同で開催したワークショップに基づく
    - ISO標準化展望枠組/ISO Standardization Foresight Frameworkのパイロットとして支援
  - ジェンダーアクションプラン／CEOやエキスパートに関する調査
- 主な活動
  - 地域グループの会合へのウェブ参加、COPOLCO総会、DEVCO会議等への参加
  - 他の国際組織との関係強化、特にIEC

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題3.1～2021年戦略実施報告

＜背景＞

- ISO戦略2030の実施計画、測定枠組みを2021年１月に承認
- 2021年実施計画には、10のプログラム及びその下に34のプロジェクト
- 測定枠組みー3つのゴール、6つの優先事項に対し、各2つの主要施策、合計30の二次施策を設定

＜主な内容＞

- 今回が初めての進捗報告。開始から数か月しかたっていないこともあり、特に懸念される事項は未だない
- 計画中、情報収集中のものも多い

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題3.2～2021年Q1の中間リスク評価

＜背景＞

- リスクの中間評価を、四半期ごとに理事会に提出
- 理事会はリスク登録簿のレビュー及び承認を、年1回実施

＜審議内容・結果＞

- Q1のリスク中間評価の結果、一部見直しが提案。例えば、
  - 市場ニーズを満たせない：発生可能性Very likely→possible
  - ISO資金のデフォルト：発生可能性Very likely→possible
  - 会員の団結の喪失：発生可能性Likely→possible
- 市場ニーズや会員の団結はISOにとって最重要事であり、発生可能性を下げるべきではない。Likelyである
- コロナ禍に対してどうかと考えるだけではなく、ISO戦略2030や、特にSMARTに向けてどうかを考えていく必要がある

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題3.3～ISO SMART 進捗報告

＜背景／経緯＞

- 機械可読規格(Machine Readable Standard)に関するTMB戦略諮問グループを設置(2018年)。　最終報告（2020年6月）で、SMART（Standards Machine Applicable, Readable and Transferable）と呼ばれる新しい種類のISO製品の、あらゆる側面への影響に関し関係者を巻き込んだ検討が必要であると提言
- ISOシステムへの影響の大きさを認識し、今後の戦略的方向性を検討するためのワークショップを開催することを決定(2020年9月)。IEC等の利害関係者も招き、ワークショップを実施（2021年２月）
- SMART Steering-Group(SMART-SG)を設置(2021年4月)。プログラムの全体的な方向性、コミュニケーションに関し審議、理事会に助言。IECとも密に連携。
- 以下の3つのサブグループを設置し検討開始
  - 「ユースケース」
  - 「ビジネスモデル」
  - 「技術的ソリューション」

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

<ISO SMART>

Standards Machine Applicable, Readable and Transferable, working in the system without human effort

人的労力なしで、システム上で機能する、機械による適用、読取り及び移動が可能な規格

	レベル0: 紙	レベル1: オープンデジタル形式 画面上で読み，検索する	レベル2: MACHINE READABLE文書 規格文書の構造化されたコンテンツ ソフトウェアによるコンテンツ処理が可能	レベル3: MACHINE READABLE コンテンツ 選択的なアクセスのためのコンテンツのセマンティックエンリッチメント 特定の目的で複数の規格のコンテンツを受け取る	レベル4: MACHINE INTERPRETABLE コンテンツ 要素間のコンテンツとつながりを示す情報モデリング コンテンツ処理とアクセスを改善するための自己学習分析及び妥当性確認周期 バリューチェーン内での中断無しのデータフロー 質問への自動回答または予測コンテンツ供給
機械がもつ機能		基本的な検索 紙	単純なタグ付け 単純検索 よく構造化された文書 ソフトウェアによる文書の解析が容易にできる	タグ付けのセマンティック記述 意味があり，定義付けされた要素の高度検索 図，公式，実行コードといった要素を見つけ，処理する基本能力	オントロジーはアドレス可能要素のつながりのために存在する 機械は特定のコンテンツ内の要素を見つけ，使用することができ，同コンテンツでオペレーションを実行することができる
機械がもつ制限	機械による相互作用は不可能	機械による相互作用はほぼ不可能	検索結果または解析されたコンテンツの理解はできない	要素に脈絡を持たせるためのオントロジーが欠如している(例：公式の発見及び使用は可能だが、これが有用であるコンテキストを理解していない)	

The structure
(data model)

Car = vehicle
(semantic modelling)

Metadata

Citation

This standard originated from...
Title:
Author:

Description

The car is composed by....

Requirements

The speed of the car shall be able to reach 280km/h

Updated on:....
Supersedes...
Version ID.....

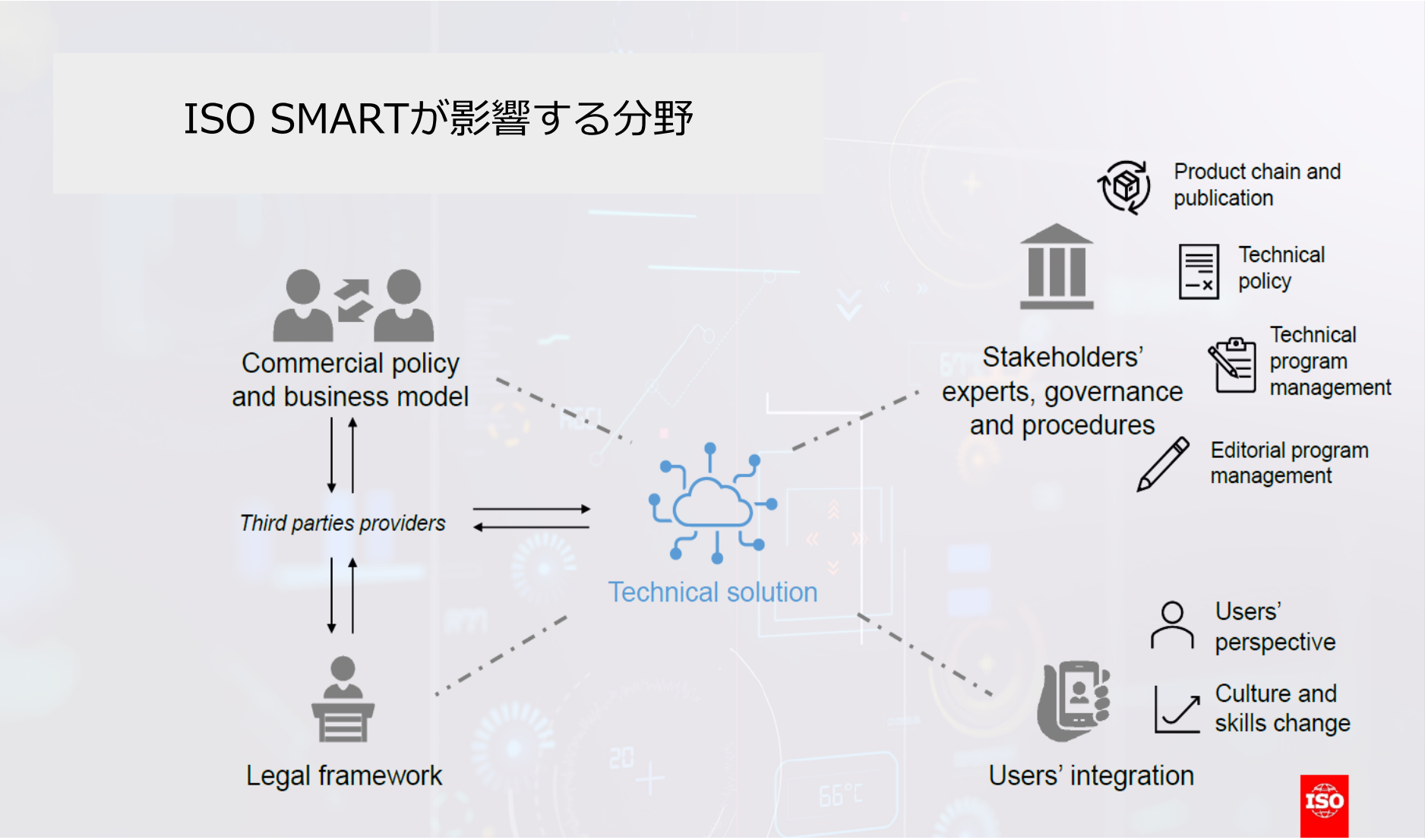
Reasoning engine

Requirement
(tagging)

Speed is associated
as an attribute to car
(ontology)

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

技術的ソリューションをコアとして
・販売ポリシー（売り方、著作権料）とビジネスモデル（第三者配付者を含む）・法的枠組、製品チェーンと発行形態、・専門的ポリシー、・規格編集管理、・ユーザ側の期待とニーズ及びスキル変更、等



Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題3.3～ISO SMART 進捗報告　　その２

＜審議内容／主な意見＞

- ”SMART“プログラムは、ISOの歴史の中でISOの業務そのものに大変革をもたらす大変重要な案件（biggest disrupter）である
- IEC SG12との協働が重要
- SMARTに関するISO/IEC共通の明確な定義が必要
- SMART Level4へいつどのように到達するかのビジョンが必要。多くの国は未だレベル１
- SMART実施レベルが国によって異なるので、コミュニケーション、教育・啓蒙が重要
- ISO/IEC Directives及びPOCOSA改訂が今後必要になる
- 本事業を支援するために一時雇用（1年間）を行うための費用（135kCHF)を承認 (決議23/2021)

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題4.1～2020年会計報告、剰余金割当

＜2020年報告＞

kCHF

	2020年実績	2020年予算	2019年実績
収益	40,492	43,040	43,157
費用	35,782	42,257	39,302
剰余	4,710	783	3,855

- MVLSにより、支出を6,475kCHF抑えた。販売及びロイヤリティによる収入は昨年より減少
- 予備費364kCHF創設(COVID-19の影響で未収となった2020年の会費に相当)
- 剰余金4,710kCHF
  - 新財政モデルに基づく返還(2,028kCHF)
  - APDC4(1400 kCHF)
  - ISO戦略実施のためのプロジェクト(1,177kCHF)
  - その他一般基金積み増し等

（決議24/2021）

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題4.2～2022年ISO会費

＜背景＞

- 年会費は、ユニット単価×割当てられたユニット数
- ユニット単価は毎年、ユニット数は3年毎に総会が承認。ISO Formulaに基づき、会員国の経済力を加味し、ユニット単価とユニット数を算定
- 2021年のユニット単価は4675CHF 、2021-2023年のユニット数は4539。JISCに割当てられるユニット数は325

＜審議内容・結果＞

- 2022年のユニット単価は4675CHFを保持。
- 2022年の会費収入を2021年並に。
- 上記のユニット単価に対し、総会の承認を求めることとする(決議25/2021)

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題4.3～2022年ISO中央事務局予算案

＜2022年予算案＞

kCHF

	2022年予算	2021年予測	2020年実績	2019年実績
収益	42,041	40,923	40,492	43,157
費用	42,041	38,513	35,782	39,302
剰余	0	2,410	4,710	3,855

- IMF経済予測に基づきコロナ禍から回復傾向にあるという見込みのもと、予算案を作成
- 2021年予測に比して、収益2.7%増、支出9.2%増の予算案
  - 支出増加は、人件費（ISO SMARTプロジェクト、R&Iチームに1名づつ採用）、ITコストなど
  - 販売、著作権収入は微増の見込み
- 回復傾向にあるとはいえ、地域毎に差異があることを認識し、「警戒感のある楽観姿勢（cautious optimism）」を継続すべきとの意見あり
- 予算案の承認　(決議26/2020)

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題5.1～ISOガバナンスレビュー

＜背景＞

- ガバナンスレビューのプロセス／枠組みを承認、課題を特定(2020年9月)
- CSC/OVEで課題に対する推奨事項案を作成、理事会で議論(2021年2月)、コメント
- ISO/FDIS 37000(組織のガバナンス-指針)に対するマッピングを実施
  - ガバナンスプラクティスの主要な側面283のうち92%に対し文書化した証拠がある

＜審議内容、結果＞

- 理事会からのコメントを考慮し、推奨事項の最終案が提示された
- 以下の2項目について議論
  - Group1のCSC/SP及びFINへの参加を連続2期（計6年）ではなく無制限にとの提案

    →特定のメンバーが支配的になることを避ける一方で、長期的な視点で議論が行われることも重要→SP/FINメンバー以外も関連議題には会議参加できる
  - 不可抗力の状況での総会で行われる選挙

    →総会前に通信投票で実施
- 推奨に従い、会則の改定を総会に推奨し、施行規則の改正を承認

(決議27/2021)

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題5.2～2021年ISO総会

＜背景＞

- ホストのBSI(英国)は、総会を対面とバーチャルの混同（ハイブリッド）で行うよう準備を進めてきた
- 対面参加者の見込み数や、ハイブリッド開催に同意するか否かの事前調査を実施
- 事前調査では、1/3以上のISOメンバーが対面参加を表明、９割がハイブリッド開催を支持
- 全会員の公平な参加のため、選挙投票を事前に行うこと、セッションを録画して視聴できるようにする等の提案

＜審議内容・結果＞

- ISOは先駆的にハイブリッド会議の有効性を実証し、世界を牽引すべき。いつかはハイブリッドにシフトしなければならない
- ISO会議は9月末までバーチャルと決定しているにもかかわらず、総会をハイブリッドで開催するのはいかがなものか。ハイブリッドでは公平な参加が困難。感染リスクも小さくなったとは言えない
- 7月の会長委員会で状況を確認し悪化した場合再度審議すること、対面参加者のためのガイダンスを作ることを条件に、ハイブリッド開催の準備を進めることに合意

(決議22/2021)

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

議題5.2～2021年ISO総会　　その２

- 理事会後、ホストが独立のリスク分析委員会のアドバイスを求め、ハイブリッド開催を断念

＜2021年総会　概要＞

- ロンドンのスタジオから中継
- 3日間（9月22-24日）にわたり2時間づつ開催。12:00-14:00/ロンドン時間（日本時間19:00-21:00)
- ワークショップ/ブレークアウトセッションを2回づつ実施
- セッションを録画し、視聴できるようにする予定

- ロンドン宣言　採択予定
  - ISO declaration on climate change: 気候変動対策の枠組みにISOとして貢献する
    - COP26　2021年11月@グラスゴー

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

その他

- 事務総長再任(決議30/2021)
  - Mr Sergio Mujica を再任。任期：2022年7月17日～2027年7月16日

- CASCO議長（決議15/2021)
  - Mr Reinaldo Balbino Figueiredoの再任（2022-2023年）を2021年9月の理事会で検討することとし、新任の募集を行わない

- 事務総長代理への謝辞（決議1/2021)
  - Mr. Nicolas Fleuryが2022年末で退職することをうけ、長年の貢献に感謝
  - 後任はMr. Silvio Dulinsky。2021年8月1日着任

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

ご参考～今後の予定

＜理事会＞

- 2021年9月20-21日　　バーチャル
- 2022年2月23-24日　　ジュネーブ
- 2022年6月8-9日　　ストックホルム
- 2022年9月21日　　シドニー

テーマは
The Future Has Begun

＜総会＞

- 2021年9月22-24日　ロンドン（バーチャル）
- 2022年9月22-23日　シドニー
- 2023年9月20-21日　アブダビ

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.

ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ
一般財団法人日本規格協会
システム系規格開発ユニット
kokusai@jsa.or.jp

Copyright 2021 JSA GROUP. All Rights Reserved.